



小林陽太郎奨学金 募集要項

一般社団法人日本アスペン研究所

グローバルに活躍する人材育成の一助として、世界各地のアスペン研究所が提供する、英語によるプログラムへの派遣を支援します。主に、現代社会が直面する課題について対話し、思索を深めます。



【設立の趣旨】

グローバル化が進展する今日、世界を舞台に活躍できる人材が求められており、異なる文化や宗教、社会背景を理解したうえで、多様な価値観に適應できる人間力が益々重要になってきております。

日本アスペン研究所は、1977年に米国アスペン研究所の活動に触れ、強い問題意識を抱いた故・小林陽太郎氏により1998年に創立されました。小林氏は、日本人の思考・行動が、極端な技術偏重、哲学の希薄なテクノクラシーから、明確な価値観と目的意識に裏付けられた、より大きく豊かなものへと脱皮する必要性を痛感し、創立に多大な熱意を注ぎました。以来、理事長として16年にわたり当研究所の活動を牽引してきました。

小林陽太郎奨学金は、長年の盟友であるレナード・ローダー氏（米国アスペン研究所国際委員会名誉会長、米国エスティ・ローダー社名誉会長）と小林夫人の篤志により、故小林陽太郎氏の長年の功績を称えるとともに、当研究所創立に込められた小林氏の思いを今後の世代へ継承すべく、設立されたものです。ローダー氏は近年の日本が内向きになっていることを懸念しておられました。今後、グローバルに活躍する人材育成の一助になることを心から願っております。

【目的】

日本の各界のヤング・リーダーを対象に、米国、日本をはじめ、世界各地のアスペン研究所が主催する様々なプログラムへ参加する機会を提供し、グローバルに活躍する人材育成の一助とします。

【概要】

小林陽太郎奨学金は、日本の産業界、官界、政界、学界、NGO等のヤング・リーダーを対象に、本部米国の他、世界に広がるアスペン研究所のインターナショナル・パートナー*が主催する各種プログラムへの参加を支援します。

※ アメリカ、日本、ドイツ、フランス、イタリア、インド、ルーマニア、スペイン、ブラハ、メキシコ、キエフ（2017年2月現在）。

I. 対象プログラム

＜プログラム1＞

米国アスペン研究所および、日本以外のインターナショナル・パートナーが各地で主催する「ソクラテス・プログラム」やその他プログラムへの参加費用（航空券および受講料）を提供*¹。

＜プログラム2＞

日本で年2回開催する米国アスペン研究所の「小林メモリアル・ソクラテス・プログラム」*²の受講料を提供*¹。

- ※1 一部適用範囲外の費用あり。詳細は p.9「奨学金提供にかかる留意事項」をご参照ください。
- ※2 米国アスペン研究所から派遣されるモデレーターによる、英語のテキストを用いた英語で行う対話セミナーです。ソクラテス・プログラムについては p.4 以降をご参照ください。

II. 対象となる応募者

産業界、官界、政界、学界、NGO 等で活躍中もしくは今後活躍が期待される日本人のヤング・リーダー（30 歳～50 歳）

III. 募集人数

＜プログラム 1＞ 年間 7-10 名

※日本国籍を有する方が対象です。

＜プログラム 2＞ 年間 40 名前後（各回 20 名前後）

※日本国籍を有する方を各回 15 名前後、他の国籍を有する方を各回 5 名前後募集します。

IV. 応募要件

1. プログラムの全日程の参加が必須です。
※一部日程の参加は、奨学金の提供対象外となります。
2. 事前に、参加承諾書の提出が必要です。
3. 参加後、レポートの提出が必要です。
※A4 用紙 1～2 枚。形式は自由。提出期限は参加後約 1 ヶ月以内。
4. 参加後、当研究所の会議・セミナー等において、口頭でのご報告をお願いします。時間・場所等は別途調整いたします。

V. 応募手続き

p.9-p.10「奨学金提供にかかる留意事項」を必ずご一読のうえ、添付申込書に必要事項を記入し、小林陽太郎奨学金事務局へご提出ください。

※参加可否について事務局にて審査の上、締め切り後 2 週間を目途にご連絡いたします。

※締め切りは各プログラムの開催 3 か月前を目途とします。

【ソクラテス・プログラムとは】

- The Aspen Institute Socrates Program(以下、ソクラテス・プログラム)は、米国アスペン研究所が米国内外で展開している、20年の歴史を持つプログラムです。
- 今後の活躍が期待される様々な分野のヤング・リーダーが集まり、現代社会が直面する課題について対話し、思索を深めます。使用言語は英語です。
- 対話は現代のテキストを中心に展開され、各テーマに精通した、経験豊かなモデレーターが参加者の活発な意見交換を促します。
- 参加者はさらに、仕事に役立つ多様なネットワークを広げ、アスペン研究所が提供する幅広いプログラムに触れる機会を得られます。セミナーでは、価値観を重んじる対話法を取り入れアイデアの交換を行います。一日だけのサロン形式は米国の主要都市で開かれており、週末を使った泊りがけのセミナーは、コロラド州アスペンをはじめ、米国内外各地で開催しています。

<https://www.aspeninstitute.org/programs/socrates-program/>

【ソクラテス・ネットワーク】

- ソクラテス・プログラムは熱意ある新進リーダーの集まりです。そのネットワークは年々広がり、出身地域 30 か国を超える 5000 人以上の卒業生が、起業家、投資家、学術研究者、政策専門家、ジャーナリストなど多種多様な立場で活躍しています。
- 参加者はこの大規模なネットワークの一員となり、ニュースレターや E メール、交流イベントなどを通じて最新情報やコミュニケーションの場を得ることができます。米国主要都市で開かれるソクラテス・サロンや交流イベントに加え、メキシコ、スペイン、ウクライナといった様々な国で開かれるソクラテス・セミナーの案内も受けられます。
- セミナーで生まれたつながりやシナジーをきっかけに、多くの卒業生がビジネスや政治の分野で協力しているほか、共同で出版活動を行っています。

【ソクラテスがもたらすインパクトの一例】

- 再生可能エネルギーについてのセミナーに参加した 4 人は、太陽光エネルギーの会社をワシントン DC で立ち上げました。
- 人口移動についてのセミナーに参加したアメリカ合衆国上院外交委員会のメンバーは、セミナーで交わされたアイデアをもとに、移民関連法案を提起しました。
- ロサンゼルスで年 2 回行われるソクラテス・サロンで意気投合した 2 人の参加者は、地元で同様のサロンを立ち上げ、地域の仲間と重要課題について行動を促し合う場を毎月提供しています。
- グローバル・ミドルクラスをテーマにしたソクラテス・セミナーに参加したタンザニアの議員は、参加をきっかけにパーム油の会社を立ち上げ、10 万人の雇用を生み出しました。

【ソクラテス・プログラムで取り扱うトピックス】

ソクラテス・セミナーでは、現代の課題について専門家によるモデレーションで対話し、探求します。最近では、エネルギー安全保障や、テクノロジーとプライバシー、アフガニスタンとパキスタンの将来、医療保険制度改革、中国とアメリカ、スポーツと社会、グリーン投資、移民、市場におけるモラルの限界、持続可能なコミュニティなどを取り上げています。

※近年取り上げられたトピックスとモデレーターの一例

- **The Motivation Divide in a Global Economy**

Moderator: Amanda Ripley, journalist and bestselling author of *The Smartest Kids in the World—and How They Got That Way*

- **Global Security and America’s Role in the New World Order**

Moderators: Dina Temple-Raston, NPR’s counterterrorism correspondent, and Harvey Rishikof, senior counsel in Crowell & Moring’s Privacy & Cybersecurity and Governments Contracts group and former dean of faculty at the National War College

- **Democracy in the Digital Age**

Moderator: Charlie Firestone, executive director of the Aspen Institute Communications and Society Program

- **Artificial Intelligence, Business, and the Future of Work**

Moderator: Neil Jacobstein, Chair of the AI and Robotics Track at Singularity University

- **The Influence of the Corporation**

Moderator: Judy Samuelson, creator and executive director of the Aspen Institute Business and Society Program

- **Over the Horizon: Five Trends Shaping the Future of Technology, Education, Business, and Society**

Moderators: William Powers, MIT Media Lab professor and author of *The New York Times* bestseller, *Hamlet’s BlackBerry*, and Connie Yowell, CEO of Collective Shift and LRNG

- **Who Are Cities For? Opportunity, Access, and Hope in the American City**

Moderator: Jennifer Bradley, founding director of the Center for Urban Innovation at the Aspen Institute.

- **The Sharing Economy**

Moderator: Andrew Ross Sorkin, columnist for the *New York Times*

【2017 年度の開催予定】

日程、講師、テーマなどの最新情報はこちらをご覧ください↓

<https://www.aspeninstitute.org/programs/socrates-program/>

<プログラム1>

MAY 19-21, 2017

SOCRATES SPAIN | RONDA, SPAIN ※募集終了

MAY 25-27, 2017

SOCRATES KYIV | KYIV, UKRAINE ※募集終了

JULY 7-10, 2017

SUMMER SEMINARS | ASPEN, CO ※募集終了

NOVEMBER 17-19, 2017

SOCRATES MEXICO | PUEBLA, MEXICO ※募集終了

FEBRUARY, 2018

WINTER SEMINARS | ASPEN, CO

<プログラム2>

OCTOBER 12-15, 2017

KOBAYASHI MEMORIAL SOCRATES SEMINAR I

※滋賀県大津市開催（使用言語は英語です）

Moderator:

William Powers, MIT Media Lab professor and author of The New York Times bestseller, Hamlet's BlackBerry（邦訳『つながらない生活 — 「ネット世間」との距離のとり方』）.

Topics:

Changing How We Change: The Future of Business, Education, and Technology

【モデルスケジュール】

	Day 1	Day 2	Day 3	Day 4
Breakfast <Morning>		Session I	Session III	Adjourned after breakfast
Lunch <Afternoon>		Session II	Cultural Activity	
<Evening>	Registration and reception		Closing Dinner	

※以上が典型的なプログラムですが、開催地やカルチュラル・アクティビティの内容/行先により、セッションの配置などが若干異なる可能性があります。

※日本国外で開催されるプログラムへ参加の場合、前日中の現地到着を推奨いたします。

【派遣対象となるその他のプログラムについて】

小林陽太郎奨学金では、ソクラテス・プログラムの他、パブリック・プログラムをはじめとするその他のプログラムへの派遣を予定しています。

<https://www.aspeninstitute.org/programs/>

■パブリック・プログラム

アスペンのメイン・キャンパスを会場に7日間で約200本のセッションが行われる「アスペン・アイディアズ・フェスティバル」や、健康問題にフォーカスした3日間のフォーラム「スポットライト・ヘルス」など、幅広い層の参加者を対象とするイベントや、都市問題をテーマに世界各地の関係者、専門家が集うフォーラム「シティ・ラボ」など、対話と交流の機会に満ちた多彩な催しを行っているプログラムです。

■派遣対象プログラムごとの参加対象者

プログラム	対象者の目安
ソクラテス・プログラム	取り扱うテーマへの関心があればよく、該当分野での専門性、経験は問わない。
アイディアズ・フェスティバル (パブリック・プログラム)	
スポットライト・ヘルス (パブリック・プログラム)	
シティ・ラボ (パブリック・プログラム)	取り扱うテーマへの関心が高く、該当分野での専門性と経験が問われる。

※派遣可能な個別のイベント詳細については別途お問い合わせください。

奨学金提供にかかる留意事項

■対象プログラム1. 日本国外で開催されるプログラム参加の場合

<奨学金の適用範囲>

1. プログラム開催地までの 直行直帰の往復航空運賃 *1
 区間：本人居住地の最寄り空港 ⇄ プログラム会場の最寄り空港
 クラス：エコノミー
2. プログラム受講料
3. プログラム期間中の食費
4. プログラム前日および期間中の宿泊費 *2*3

*1 他都市への立ち寄りなど、上記区間と異なる経路を利用する場合は、参加者本人にて航空券の手配をお願いいたします。その際、航空運賃は奨学金の適用外となり、奨学金としてプログラム参加費、食費、宿泊費が提供されます。

*2 前泊はプログラムを主催する各国アспен研究所が指定する施設に限ります。前泊の際の食事代は参加者負担となります。

*3 プログラム終了日に移動の手段がない場合、プログラムを主催する各国アспен研究所が指定する施設での宿泊費を適用範囲とします（例：日本への帰国便が翌朝出発の場合）。後泊の際の食事代は参加者負担となります。

<奨学金の適用範囲外（参加者負担）>

1. 海外旅行保険費用 *4
2. パスポート、VISA（ESTA 含む）取得費用
3. 居住地と最寄り空港間の交通費（例：自宅～成田空港間の交通費）
4. プログラム開催地域での私用の交通費 ※5
5. プログラム期間中、オプションの活動に参加する費用（例：ハイキング、スキーなどのアクティビティ）

*4 移動中、滞在中の事故等について、日本アспен研究所は責任を負いかねますので、海外旅行保険に各自加入されることを推奨いたします。

*5 多くの場合、宿泊施設とプログラム会場間のシャトルサービスがあります。

<その他>

1. プログラムの全日程の参加をお願いいたします。一部日程の参加は、奨学金の提供対象外となります。
2. プログラム参加にかかる航空券・宿泊は、上記適用範囲内において、通常、米国のアспен研究所事務局にて手配いたします。

■対象プログラム2. 日本国内で開催されるプログラム参加の場合

<奨学金の適用範囲>

1. プログラム受講料
2. プログラム期間中の食費
3. プログラム期間中の宿泊費

<奨学金の適用範囲外（参加者負担）>

1. プログラム開催地までの交通費
2. プログラム期間前後の宿泊費
3. プログラム開催地域での私用の交通費

<その他>

1. プログラムの全日程の参加をお願いいたします。一部日程の参加は、奨学金の提供対象外となります。

■キャンセルポリシー

参加決定後にキャンセルされる場合は、日本アспен研究所へ電話でご連絡をいただくとともに、プログラムを主催する各国研究所へ書面を提出していただきます。プログラムごとに定められたキャンセルポリシーに基づき、キャンセル料をお支払いいただきます。

<例：米国アспен研究所で開催されるソクラテス・プログラムの場合>

- セミナー開催 45 日前まで
\$110（セミナー受講キャンセル料\$75、ホテルキャンセル料\$35）。
- セミナー開催 45 日前～30 日前
セミナー受講料の 25%およびホテルキャンセル料\$35。
- セミナー開催 29 日前～15 日前
セミナー受講料の 55%およびホテル費用全額。
- セミナー開催 14 日前～当日
セミナー受講料全額およびホテル費用全額。
- 以上に加え、航空券のキャンセル料が発生する場合があります。

以上

問合せ・申込先：一般社団法人日本アспен研究所 坂本・千葉
TEL: 03(6438)9208 FAX03(3405)1668
E-mail: scholarship@aspeninstitute.jp

一般社団法人日本アスペン研究所
小林陽太郎奨学金申込書

申込日： 年 月 日

氏名（日本語表記）		
氏名（英語表記）		
企業・団体名		
企業・団体名（英）		
部署・役職		
部署・役職（英）		
所在地	〒	
電話/Fax	電話	Fax
E-mail アドレス		
生年月日	年 月 日生まれ（ ）歳	
国籍		

応募プログラム（選択してください。）：

1. 小林メモリアル・ソクラテス・プログラム（2017年10月滋賀県大津市にて開催）
2. ソクラテス・プログラム（開催国名・時期： ）
3. パブリック・プログラム（プログラム名： ）

※上記プログラムの使用言語は英語です。

応募動機（参加の抱負、期待すること）：

--

主な職務経歴：

--

現職内容：

--

海外渡航・滞在経験：

1	時期	年 月～ 年 月	滞在国内・地域	
	目的			
2	時期	年 月～ 年 月	滞在国内・地域	
	目的			
3	時期	年 月～ 年 月	滞在国内・地域	
	目的			

英語力

TOEFL, TOIEC の点数など	
--------------------	--

申込先： 一般社団法人日本アспен研究所 坂本・千葉
 TEL03(6438)9208 FAX03(3405)1668
 E-mail:scholarship@aspeninstitute.jp